

平成二十七年年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験を次の要項によって行います。

平成二十六年四月十四日

広島県教育委員会

教育長 下 崎 邦 明

平成二十七年年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験実施要項

平成二十七年年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験を広島県教育委員会と広島市教育委員会とが共同して次のとおり実施する。

一 求められる教職員像及び選考方針

広島県・広島市では、「求められる教職員像」を明らかにし、教職員の人材育成に取り組むとともに、これを踏まえて自らの資質、能力を高めていくことのできる教員を求めている。

「求められる教職員像」

普遍的な事項

- 高い倫理観と豊かな人間性をもっている。
 - 子供に対する教育的愛情と教育に対する使命感をもっている。
 - 専門性を発揮し、的確に職務を遂行できる。
 - 社会や子供の変化に柔軟に対応できる。
- 新たな「教育界ひろしま」の創造に向けて特に求められる事項
- 確かな授業力を身に付けている。
 - 豊かなコミュニケーション能力を有している。
 - 新たなものに積極的に挑戦する意欲をもっている。
 - 他の教職員と連携・協働し、組織的に職務を遂行できる。

選考に当たっては、「求められる教職員像」を踏まえ、実施する試験項目の成績に加えて提出書類等を勘案し選考する。

二 選考を行う職種・校種・教科（科目、分野）等の区分

職種・校種等		教科（科目、分野）等		採用見込人員
小学校教諭				三七五人程度
中学校教諭		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭（技術、家庭）、外国語（英語）		二五五人程度
高等学校教諭		国語、地理歴史（世界史、日本史、地理）、公民（倫理、政治・経済）、数学、理科（物理、化学、生物、地学）、保健体育、芸術（音楽、美術、書道）、外国語（英語）、家庭、情報、農業、工業（機械、電気、建築、化学工学、インテリア）、商業、看護、福祉		一一五人程度
特別支援 学校教諭	小学部			八五人程度
	中学部	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭（技術、家庭）、外国語（英語）		
	高等部	国語、地理歴史（世界史、日本史、地理）、公民（倫理、政治・経済）、数学、理科（物理、化学、生物、地学）、保健体育、芸術（音楽、美術、書道）、外国語（英語）、家庭、情報、農業、工業（建築、インテリア）、福祉		

- (注) (一) いずれか一つの職種・校種・教科(科目、分野)についてのみ受験できる(併願はできないが、受験願に受験校種以外の校種の採用候補者として記載されることがある。)。この場合、受験した校種以外の校種の採用候補者として記載されることがある。)
- (二) 教諭には、任用の期限を付さない常勤講師を含むものとし、日本国籍を有しない者は、この常勤講師に任用することになる。
- (三) 身体に障害のある者を対象とした特別選考により全ての職種・校種等を合わせて一人程度を採用する予定である(採用見込人員の合計を含む。)

三 受験資格

選考区分	要件
<p>一般選考</p>	<p>次の(一)から(三)までの要件を満たす者が受験できる。</p> <p>(一) 地方公務員法(昭和二十五年法律第二百六十一号)第十六条及び学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)第九条の欠格条項に該当しない者であること。</p> <p>(二) 昭和四十五年四月二日以降に生まれた者であること。</p> <p>(三) 受験する職種・校種・教科に相当する普通免許状(特別支援学校教諭小学部を受験する場合には小学校教諭普通免許状、中学部を受験する場合には中学校教諭普通免許状(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭又は外国語(英語))、高等部を受験する場合には高等学校教諭普通免許状(国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術、書道、外国語(英語)、家庭、情報、農業、工業又は福祉))を所有する者又は平成二十七年三月三十一日までに確実に取得する見込みの者であること。</p> <p>なお、教員免許更新制に係る旧免許状所持者のうち、最初の修了確認期限を平成二十七年三月三十一日までに迎える者は、同年一月三十一日までに修了確認等の手続を完了すること。</p>
<p>身体に障害のある者を対象とした特別選考</p>	<p>一般選考の項に掲げる要件を満たす者であって、次の(一)及び(二)の要件を満たす者が受験できる。</p> <p>(一) 身体障害者手帳の交付を受けていること。</p> <p>(二) 介護者なしに職務の遂行が可能であること。</p>
<p>社会人を対象とした特別選考(高等学校の工業・看護)</p>	<p>一般選考の項に掲げる要件のうち(一)及び(二)の要件を満たす者であって、次の(一)及び(二)の要件を満たす者が受験できる。</p> <p>(一) 高等学校を卒業していること。又は、高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有していること。</p> <p>(二) 工業の受験については、民間企業又は官公庁において、正規職員(任期を定めて採用された職員を除く。)として受験前過去六年間(平成二十年度から平成二十五年年度まで)で通算三年以上の工業に関する実務経験があること。</p> <p>看護の受験については、看護師免許証を有し、国公立又は民間病院等において、正規職員(任期を定めて採用された職員を除く。)の看護師(助産師、保健師、看護学校等の教官経験を含む。)として通算五年以上の実務経験があること。</p>

<p>臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考</p>	<p>グローバル人材を対象とした特別選考 (中学校・高等学校の外国語(英語))</p>
<p>一般選考の項に掲げる要件のうち(一)及び(三)の要件を満たす者であつて、次の(一)及び(二)の要件を満たす者が受験できる。</p> <p>(一) 昭和三十年四月二日以降に生まれた者であること。</p> <p>(二) 教諭の受験については、次の(1)又は(2)の要件のいずれかを満たす者であること。</p> <p>(1) 広島県・広島市の公立学校で、実習助手(本務者で教育職員免許状所有者)、育休任期付職員、臨時的任用職員又は非常勤講師等として、受験前過去四年間(平成二十二年年度から平成二十五年年度まで)で通算三十六月以上の教科に関する実務経験(受験する職種(実習助手(本務者及び臨時的任用職員)及び非常勤講師は教諭とみなす。)、校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験に限る。)があること。</p> <p>(2) 広島県・広島市の公立学校の元正規任用教員としての通算三年以上(受験する校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験であつて、休職等の期間及び任期を定めて採用された期間を除く。)の勤務経験及び広島県・広島市の公立学校の臨時的任用職員等としての受験前過去二年間(平成二十四年度及び平成二十五年年度)で通算十二月以上の教科に関する実務経験(受験する職種、校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験に限る。)があること。</p> <p>養護教諭の受験については、次の(1)又は(2)の要件のいずれかを満たす者であること。</p> <p>(1) 広島県・広島市の公立学校で、育休任期付職員又は臨時的任用職員等として、受験前過去四年間(平成二十二年年度から平成二十五年年度まで)で通算三十六月以上の養護に関する実務経験があること。</p> <p>(2) 広島県・広島市の公立学校の元正規任用教員としての通算三年以上(養護教諭としての教職経験であつて、休職等の期間を除く。)の勤務経験及び広島県・広島市の公立学校の臨時的任用職員等としての受験前過去二年間(平成二十四年度及び平成二十五年年度)で通算十二月以上の養護に関する実務経験があること。</p>	<p>一般選考の項に掲げる要件のうち(一)の要件を満たす者であつて、次の(一)から(五)までの要件を満たす者が受験できる。</p> <p>(一) 出願時に、外国国籍を有する者であること。又は、出願時に、日本国籍を有する者のうち、過去に外国国籍を有した者であること。</p> <p>(二) 母語が英語であること。又は、それと同等の英語の語学力を有していること。</p> <p>(三) 外国での居住経験があり、大学(日本国内の四年制大学、又は、それと同等の外国の教育機関とする。)を卒業していること。</p> <p>(四) 昭和三十年四月二日以降に生まれた者であること。</p> <p>(五) 広島県・広島市の公立学校で、臨時的任用職員、非常勤講師、外国語指導助手等として、平成二十二年四月から平成二十六年八月までの期間に通算三十六月以上の英語の指導に関する実務経験があること。</p>

<p>現職教員を対象とした特別選考</p>	<p>一般選考の項に掲げる要件を満たす者であって、次の(一)及び(二)の要件を満たす者が受験できる(養護教諭については実施しない。)</p> <p>(一) 国公立学校における正規任用教員等(広島県又は広島市の公立学校正規任用教員及び任期を定めて採用された教員を除く。以下同じ。)として、平成二十六年三月三十一日までに通算して三年以上(受験する校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験であって、休職等の期間及び任期を定めて採用された期間を除く。)の勤務経験があること。</p> <p>(二) 出願時に国公立学校における正規任用教員等であり、かつ、平成二十七年三月三十一日まで引き続き勤務予定であること。</p>
-----------------------	---

(注) (一) いずれか一つの選考区分についてのみ受験できる(選考区分の併願はできない。)

(二) 社会人を対象とした特別選考において採用候補者として記載された場合、該当教科の教育職員免許状(普通免許状)を有しない者は、広島県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。

(三) グローバル人材を対象とした特別選考において採用候補者として記載された場合、採用に伴って次のことが必要になる。

(1) 該当校種及び教科の教育職員免許状(普通免許状)を有しない者は、広島県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受けること。

(2) 日本国籍を有しない者は、平成二十七年三月三十一日までに、中学校や高等学校において勤務するために必要な在留資格を取得すること。

(四) 各特別選考における実務経験又は勤務経験の期間とは、それぞれ複数の期間を通算した期間(重複する期間を除く。)となる。なお、経験月数は、発令期間が一月の中に一日でもあれば、当該月は経験月とする。

四 試験の期日及び集合時刻等

1 一般選考・身体に障害のある者を対象とした特別選考

区分	期日・集合時刻	試験項目
第一次選考試験	七月十九日(土) 午前八時五十分	教職に関する専門教育科目 教科に関する専門教育科目(教諭) 養護に関する専門科目(養護教諭) グループワーク
第二次選考試験	八月二十日(水) 八月二十一日(木) 八月二十二日(金)	教科等実技・面接 面接・模擬授業(学習指導案作成を含む。) 面接・模擬授業(学習指導案作成を含む。) 面接・模擬授業(学習指導案作成を含む。)

2

社会人を対象とした特別選考

- (注) (一) 集合時刻を厳守し、時間に余裕を持って行動すること。
- (二) 第一次選考試験において、午後のグループワークは、午前の試験終了後、受験票に記載する時刻までに所定の試験場に集合すること。なお、集合する試験場については、当日試験会場で確認すること。
- (三) 第二次選考試験の面接日程等は、第一次選考試験の結果、第二次選考試験の受験資格を得た者に、別途連絡する。
- (四) 養護教諭については、第二次選考試験の模擬授業は実施しない。

第二次選考試験			第一次選考試験	区分
八月二十二日(金)	八月二十一日(木)	八月二十日(水)	七月十九日(土) 午前八時五十分	期日・集合時刻
面接・模擬授業 (学習指導案作成を含む。)	面接・模擬授業 (学習指導案作成を含む。)	教科等実技・面接	面接 グループワーク	試験項目

(注) (一) 集合時刻を厳守し、時間に余裕を持って行動すること。

(二) 第一次選考試験において、午前九時から随時面接試験を行い、その後、グループワークを行う。

(三) 午後のグループワークは、午前の試験終了後、受験票に記載する時刻までに所定の試験場に集合すること。なお、集合する試験場については、当日試験会場で確認すること。

(四) 第二次選考試験の面接日程等は、第一次選考試験の結果、第二次選考試験の受験資格を得た者に、別途連絡する。

3

臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考

第二次選考試験			第一次選考試験	区分
八月二十二日(金)	八月二十一日(木)	八月二十日(水)	七月十九日(土) 午前十時五十分	期日・集合時刻
面接・模擬授業 (学習指導案作成を含む。)	面接・模擬授業 (学習指導案作成を含む。)	教科等実技・面接	小論文 グループワーク	試験項目

(注) (一) 集合時刻を厳守し、時間に余裕を持って行動すること。

- (二) 第一次選考試験において、午前十一時から小論文を行い、その後、グループワークを行う。
- (三) 午後のグループワークは、午前の試験終了後、受験票に記載する時刻までに所定の試験場に集合すること。なお、集合する試験場については、当日試験会場で確認すること。

- (四) 第二次選考試験の面接日程等は、第一次選考試験の結果、第二次選考試験の受験資格を得た者に、別途連絡する。

4 グローバル人材を対象とした特別選考・現職教員を対象とした特別選考

期日	集合時刻	試験項目
八月二十三日(土)	別途連絡する時刻までに集合すること。	面接・模擬授業(学習指導案作成を含む。)

(注) (一) 集合時刻を厳守し、時間に余裕を持って行動すること。

- (二) 面接日程等は、別途連絡する。

五 選考試験の内容等

1 選考試験の内容

- (一) 一般選考・身体に障害のある者を対象とした特別選考

選考試験は第一次選考試験と第二次選考試験に分けて実施し、第二次選考試験は第一次選考試験の結果、第二次選考試験の受験資格を得た者についてのみ行う。点字、拡大文字、手話通訳等の配慮が特に必要な場合は、出願時に連絡すること。

なお、身体に障害のある者を対象とした特別選考においては、障害の程度に応じて実技試験の一部又は全ての免除を受けることができる。

第一次選考試験				区分
グループワーク	養護に関する専門科目	教科に関する専門教育科目	教職に関する専門教育科目	試験項目
○	—	○ 配点 二〇〇	○ 配点 一〇〇	教諭
○	○ 配点 二〇〇	—	○ 配点 一〇〇	養護教諭
当日提示する課題について、グループで活動を実施	試験内容等	養護に関する専門的内容についての筆記試験	教育原理、教育法規等に関する専門的内容についての筆記試験	試験内容等・配点
・ コミュニケーション能力がある。 ・ 協調性がある。 ・ 使命感がある。	主な評価項目			

小学校 論校		職種・校種	試験内容等	主な評価項目
体育	音楽	実施教科等		
<p>体力づくり運動、器械・器具を使 つての運動遊び、器械運動、走・ 跳の運動遊び、走・跳の運動、陸 上運動、ゲーム、ボール運動、表 現リズム遊び及び表現運動のうち 当日指示する課題</p>		<p>・ オルガン演奏（「バイエルピ アノ教則本」の五番から一〇 三番までのうち一曲選択して演 奏。楽譜は見てもよい。） ・ ソプラノリコーダー演奏（当 日指示する曲から一曲選択し演 奏） ・ 歌唱（当日指示する曲から一 曲選択し歌唱）</p>		

（教科等実技試験）

第二次選考試験			区分
個人面接	模擬授業	教科等実技	試験項目
○	○	次の表（教科等実技 試験）に掲載のある 校種・教科等受験者 のみ	教諭
○	—	○	養護教諭
個人面接を 受験者一人 につき二回 実施	当日提示す る資料に沿 って、案を学 習する児童 の想定を 生成し、児童 生徒を授業 実施	実施教科等、試験 内容は次の表 （教科等実技試 験）のとおり	試験内容等
<p>・ 児童生徒に 対する愛情、教 育意欲等を持つ ている。 ・ 自ら進んで事 に当たり、より 効果的に行おう とする意思があ る。 ・ 組織の中で自 己の役割を認識 し、良好な人間 関係を築くこと ができる。</p>	<p>・ 児童生徒の考 えを引き出す発 問ができるなど 十分な指導力を 持っている。 ・ 児童生徒を引 きつける表情、 動作ができるな ど表現力が豊か である。 ・ 児童生徒に共 感的、受容的な 対応ができる。</p>	<p>児童生徒の考 えを引き出す発 問ができるなど 十分な指導力を 持っている。 児童生徒を引 きつける表情、 動作ができるな ど表現力が豊か である。 児童生徒に共 感的、受容的な 対応ができる。</p>	主な評価項目

（注）○は、実施する試験項目を表している（以下の選考試験において同じ。）。

中
学
論
校

音楽	美術	保健体育	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	外国語(英語)	保健体育
<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノ演奏(自作以外の任意の曲を暗譜で演奏) ・ 自らのピアノ伴奏による歌唱(弾き歌い) ・ 次の七曲の中から一曲選択し、暗譜で演奏 (一) 「赤とんぼ」 三木露風 作詞 山田耕筰 作曲 (二) 「荒城の月」 土井晩翠 作詞 滝廉太郎 作曲 (三) 「早春賦」 吉丸一昌 作詞 中田 章 作曲 (四) 「夏の思い出」 江間章子 作詞 中田喜直 作曲 (五) 「花」 武島羽衣 作詞 滝廉太郎 作曲 (六) 「花の街」 江間章子 作詞 團伊玖磨 作曲 (七) 「浜辺の歌」 林 古溪 作詞 成田為三 作曲 ・ 箏による独奏(平調子で演奏できる自作以外の任意の曲(二〜三分程度)を暗譜で演奏 ・ 視唱(コンコーネ五〇番から当日指示) 	<p>表現領域のうち当日指示する課題</p>	<p>体づくり運動、器械運動、陸上競技、水泳、球技、武道、ダンス、集団行動、応急手当のうち、当日指示する課題</p>	<p>技術分野の内容のうち当日指示する課題</p>	<p>調理、被服、布を用いた物の製作のうち当日指示する課題</p>	<p>英語による面接</p>	<p>中学校教諭(保健体育)の欄と同じ。</p>
<p>音程及びリズムを正確に歌うことができる。</p>	<p>表現意図に応じた表現の工夫が効果的である。</p>	<p>正確なフォームで運動を行うことができる。</p>	<p>工具の使用方法は適切である。</p>	<p>用具の使用法や調理及び製作の技術が適切である。</p>	<p>質問に対して適切に回答することができる。</p>	<p>中学校教諭(保健体育)の欄と同じ。</p>

高等学校
教諭

芸術（音楽）	芸術（美術）	芸術（書道）	外国語（英語）	家庭	情報	農業	工業（機械）	工業（電気）	工業（建築）	工業（化学工学）	工業（インテリア）	商業	看護	福祉	小学部	中学部・音楽	中学部・美術	中学部・保健体育	中学部・技術・家庭（技術）	中学部・技術・家庭（家庭）
中学校教諭（音楽）の欄と同じ。	中学校教諭（美術）の欄と同じ。	漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書	中学校教諭（外国語（英語））の欄と同じ。	中学校教諭（技術・家庭（家庭））の欄と同じ。	システム設計・管理分野、マルチメディア分野のうち当日指示する課題	農業生産に関する内容のうち当日指示する課題	金属加工、機械に関する製図のうち当日指示する課題	電気回路の配線、電気に関する製図のうち当日指示する課題	木材加工、建築に関する製図のうち当日指示する課題	滴定、化学工学に関する製図のうち当日指示する課題	木材加工、インテリアに関する製図のうち当日指示する課題	会計分野の内容のうち当日指示する課題	診療と看護のうち当日指示する課題	自立に向けた生活支援のうち当日指示する課題	小学校教諭の欄と同じ。	中学校教諭（音楽）の欄と同じ。	中学校教諭（美術）の欄と同じ。	中学校教諭（保健体育）の欄と同じ。	中学校教諭（技術・家庭（技術））の欄と同じ。	中学校教諭（技術・家庭（家庭））の欄と同じ。
中学校教諭（音楽）の欄と同じ。	中学校教諭（美術）の欄と同じ。	文字の配置などの構成を考えて表現できる。	中学校教諭（外国語（英語））の欄と同じ。	中学校教諭（技術・家庭（家庭））の欄と同じ。	情報通信ネットワークを適切に活用することができる。	農業資材、器具等の使用方法は適切である。	機械、工具等の使用方法は適切である。	配線、器具の配置は適切である。	器具等の使用方法は適切である。	薬品や器具等の使用方法は適切である。	器具等の使用方法は適切である。	帳簿作成技術が適切である。	看護技術が適切である。	介護技術が適切である。	小学校教諭の欄と同じ。	中学校教諭（音楽）の欄と同じ。	中学校教諭（美術）の欄と同じ。	中学校教諭（保健体育）の欄と同じ。	中学校教諭（技術・家庭（技術））の欄と同じ。	中学校教諭（技術・家庭（家庭））の欄と同じ。

養護教諭	特別支援 学校教諭												
	学校保健全般	高等部・福祉	高等部・工業 (インテリア)	高等部・工業 (建築)	高等部・農業	高等部・情報	高等部・家庭	高等部・外国語 (英語)	高等部・芸術 (書道)	高等部・芸術 (美術)	高等部・芸術 (音楽)	高等部・保健体育	中学部・外国語 (英語)
保健管理、保健教育のうち当日指示する課題	高等学校教諭(福祉)の欄と同じ。	高等学校教諭(工業(インテリア))の欄と同じ。	高等学校教諭(工業(建築))の欄と同じ。	高等学校教諭(農業)の欄と同じ。	高等学校教諭(情報)の欄と同じ。	中学校教諭(技術・家庭(家庭))の欄と同じ。	中学校教諭(外国語(英語))の欄と同じ。	高等学校教諭(芸術(書道))の欄と同じ。	中学校教諭(美術)の欄と同じ。	中学校教諭(音楽)の欄と同じ。	中学校教諭(保健体育)の欄と同じ。	中学校教諭(外国語(英語))の欄と同じ。	中学校教諭(外国語(英語))の欄と同じ。
傷病に応じた適切な処置ができる。	高等学校教諭(福祉)の欄と同じ。	高等学校教諭(工業(インテリア))の欄と同じ。	高等学校教諭(工業(建築))の欄と同じ。	高等学校教諭(農業)の欄と同じ。	高等学校教諭(情報)の欄と同じ。	中学校教諭(技術・家庭(家庭))の欄と同じ。	中学校教諭(外国語(英語))の欄と同じ。	高等学校教諭(芸術(書道))の欄と同じ。	中学校教諭(美術)の欄と同じ。	中学校教諭(音楽)の欄と同じ。	中学校教諭(保健体育)の欄と同じ。	中学校教諭(外国語(英語))の欄と同じ。	中学校教諭(外国語(英語))の欄と同じ。

(二) 社会人を対象とした特別選考

第一次選考試験において、面接試験とグループワークを実施する。第二次選考試験は、一般選考と同様である。

第一次選考試験		
試験項目	個人面接	試験項目
グループワーク	○	高等学校教諭 (工業、看護)
試験内容等	教育原理、教育法規及び受験教科等に関する専門的内容についての面接試験	試験内容等
主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 教科に関する専門性を持っている。 公務員としての基本理念や教員としての義務等について基礎的知識がある。 コミュニケーション能力がある。 協調性がある。 使命感がある。 	主な評価項目

(三) 臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考

第一次選考試験において、小論文とグループワークを実施する。第二次選考試験

は、一般選考と同様である。

第一次選考試験		
グループワーク	小論文	試験項目
○	○	全職種・校種
当日提示する課題について、小グループで活動を実施	テーマ指定による小論文	試験内容等
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーション能力がある。 ・ 協調性がある。 ・ 使命感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマを踏まえ、具体的な指導について書いている。 	主な評価項目

(四) グローバル人材を対象とした特別選考

試験項目	試験項目	試験内容等	主な評価項目
模擬授業	○	当日提示する資料に沿って、学習指導案を作成し、生徒を想定した授業を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の考えを引き出す発問ができるなど十分な指導力を持っている。 ・ 生徒を引きつける表情、動作ができるなど表現力が豊かである。 ・ 生徒に共感的、受容的な対応ができる。 ・ 生徒に対する愛情、教育に対する熱意、意欲等を持っている。 ・ 組織の中で自己の役割を認識し、良好な人間関係を築くことができる。 ・ 教科に関する専門性を持っている。
個人面接	○	個人面接を受験者一人につき二回実施	

(五) 現職教員を対象とした特別選考

試験項目	試験項目	試験内容等	主な評価項目
模擬授業	○	当日提示する資料に沿って、学習指導案を作成し、児童生徒を想定した授業を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の考えを引き出す発問ができるなど十分な指導力を持っている。 ・ 児童生徒を引きつける表情、動作ができるなど表現力が豊かである。 ・ 児童生徒に共感的、受容的な対応ができる。 ・ 児童生徒に対する愛情、教育に対する熱意、意欲等を持っている。 ・ 自ら進んで事にあたり、より効果的に行おうとする意思がある。 ・ 組織の中で自己の役割を認識し、良好な人間関係を築くことができる。
個人面接	○	個人面接を受験者一人につき二回実施	

2 試験当日の持参物

(一) 一般選考・身体に障害のある者を対象とした特別選考・社会人を対象とした特別選考

考・臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考

(1) 第一次選考試験

第二次選考試験

第二次選考試験													区 分	持 参 物											
特別支援 学校教諭				高等学校 教諭					中学校 教諭						小学校教諭										
高等部・芸術（美術）	高等部・芸術（音楽）	高等部・保健体育	高等部・家庭（技術）	中学部・技術・家庭（技術）	中学部・保健体育	中学部・美術	小学部	福祉	看護	商業	工業（機械・電気・建築・化学工学・インテリア）	農業	家庭	芸術（書道）	芸術（美術）	芸術（音楽）	保健体育	技術・家庭（技術）	美術	音楽	音楽	小学	体育実技のできる服装、運動靴（屋内用）、「バイエルピアノ教則本」の任意曲の楽譜、ソプラノリコーダー		
中学校教諭（美術）の欄と同じ。	中学校教諭（音楽）の欄と同じ。	中学校教諭（保健体育）の欄と同じ。	中学校教諭（技術・家庭（家庭））の欄と同じ。	中学校教諭（技術・家庭（技術））の欄と同じ。	中学校教諭（保健体育）の欄と同じ。	中学校教諭（美術）の欄と同じ。	小学校教諭の欄と同じ。	実技のできる服装	実技のできる服装	そろばん又は電卓（電卓機能のものに限る。）、定規類（三角定規、二〇センチメートル程度の直線定規）、赤ボールペン	（電卓機能のものに限る。）	実技のできる服装及び靴	中学校教諭（技術・家庭（家庭））の欄と同じ。	実技のできる服装、書道用具一式	中学校教諭（美術）の欄と同じ。	中学校教諭（音楽）の欄と同じ。	実技のできる服装	実技のできる服装	実技のできる服装、運動靴（屋内用、屋外用）、水泳着	ピアノ演奏の任意曲の楽譜、箏曲独奏の任意曲の楽譜、箏爪	実技のできる服装、水彩画用具一式、ポスターカラー又は水性アクリル絵具、定規類（三角定規、二〇センチメートル程度の直線定規）	実技のできる服装、運動靴（屋内用、屋外用）、水泳着	実技のできる服装	実技のできる服装、運動靴（屋内用、屋外用）、水泳着	ピアノ演奏の任意曲の楽譜、箏曲独奏の任意曲の楽譜、箏爪

	高等部・芸術（書道）	高等学校教諭（芸術（書道））の欄と同じ。
	高等部・家庭	中学校教諭（技術・家庭（家庭））の欄と同じ。
	高等部・農業	高等学校教諭（農業）の欄と同じ。
	高等部・工業（建築・インテリア）	高等学校教諭（工業（建築・インテリア））の欄と同じ。
養護教諭	高等部・福祉	高等学校教諭（福祉）の欄と同じ。
	実技のできる服装	

(二) グローバル人材を対象とした特別選考・現職教員を対象とした特別選考

受験票、筆記用具、スリッパ等上履き

六 選考の方法

各選考区分において実施する試験項目の全てを受験した場合に限り選考の対象とし、成績上位者から各試験項目等を考慮して総合的に判断し、採用候補者名簿登載者を決定する。ただし、一定の基準に達しない試験項目等がある場合は、不合格となる。

七 試験会場

1 一般選考・身体に障害のある者を対象とした特別選考・社会人を対象とした特別選考・臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考

第一次選考試験会場	
広島県立広島国泰寺高等学校 (広島市中区国泰寺町一丁目二一四九)	電話 〇八二―二四一―一五三七
広島県立広島観音高等学校 (広島市西区南観音町四一〇)	電話 〇八二―二三二―一三七一
広島市立基町高等学校 (広島市中区西白島町二五一)	電話 〇八二―二二一―一五一〇
広島市立舟入高等学校 (広島市中区舟入南一丁目四一四)	電話 〇八二―二三二―一二六一
福山市立福山中・高等学校 (福山市赤坂町赤坂九一〇)	電話 〇八四―九五二―五九七八

第二次選考試験会場	
広島県立広島観音高等学校 (広島市西区南観音町四一〇)	電話 〇八二―二三二―一三七一
広島県立広島工業高等学校 (広島市南区出汐二丁目四一七五)	電話 〇八二―二五四―一四二一
広島県立広島商業高等学校 (広島市中区舟入南六丁目七一)	電話 〇八二―二三一―九三二五
広島市立庚午中学校 (広島市西区庚午中四丁目二一四八)	電話 〇八二―二七一―〇〇〇一
広島市立袋町小学校 (広島市中区袋町六一三六)	電話 〇八二―二四七―九二四一

広島市立庚午小学校 (広島市西区庚午中一丁目一五―一)	電話 〇八二―二七二―七〇〇〇
広島市立南観音小学校 (広島市西区南観音六丁目五―四五)	電話 〇八二―二三二―〇四九四
広島市立千田小学校 (広島市中区東千田町二丁目一―三四)	電話 〇八二―二四一―八六二三

(注) (一) 一般選考の区分により小学校教諭を受験する場合、第一次選考試験の試験会場について広島市又は福山市のいずれかを希望することができる(受験願に希望を記入すること)。

(二) 第一次選考試験会場は受験票によって、第二次選考試験会場は第一次選考試験結果の通知書によって、後日通知する。

2 グローバル人材を対象とした特別選考・現職教員を対象とした特別選考

会 場	
広島市立南観音小学校 (広島市西区南観音六丁目五―四五)	電話 〇八二―二三二―〇四九四

八 受験手続

1 出願に必要な書類の請求

出願に必要な書類は、広島県教育委員会事務局管理部教職員課(〒七三〇―八五一四 広島市中区基町九―四二)又は広島市教育委員会事務局学校教育部教職員課(〒七三〇―八五八六 広島市中区国泰寺町一丁目四―二二)に請求するか、広島県教育委員会のホームページから様式をダウンロードすること。
なお、郵送による請求を希望する場合は、封筒の宛名面に「教員採用試験受験案内請求」と朱書きし、必ず返信用封筒(長さ三百三十ミリメートル、幅二百四十ミリメートルの角形二号の封筒に二百五円分の切手を貼り、宛先・郵便番号・住所・氏名を明記)を同封の上、請求すること。

2 提出書類(出願時)

選考区分	全選考区分共通の書類	選考区分により必要な書類
一般選考(第一次選考試験免除者を含む)	(一) 受験願 (1) 黒ボールペンを用いて必要事項を記入すること。 (2) 写真(六か月以内の撮影、サイズ縦五センチメートル、横四センチメートル、無帽正面上半身、カラー、背景無地)を貼ること。また、別に同一の写真を一枚用意し、後日、こちらから送付する受験票に写真を貼ること。 (3) 署名欄については、月日の記入、自筆による署名及び押印をすること。 (4) 受験願記入要領により正確に記入すること。	—
身体に障害のある者を対象とした特別選考(第一次選考試験免除者を含む)	—	—

<p>社会人を対象とした特別選考（高等学校の工業・看護）</p>	<p>臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考</p>	<p>グローバル人材を対象とした特別選考</p> <p>現職教員を対象とした特別選考</p>
<p>(5) 日本語で記入すること。</p> <p>(二) 自己アピール用紙 黒ボールペンを用い、枠内におさまるように記入すること。</p> <p>(三) 整理カード</p> <p>(1) 整理カード記入要領により、黒ボールペンを用いて正確に記入すること。</p> <p>(2) 日本語で記入すること。</p> <p>(四) 五十二円切手（受験票の送付に使用） 切手は受験願にクリップで留めると。</p> <p>(五) 英語に関する資格証明書の写し 中学校教諭・外国語（英語）、高等学校教諭・外国語（英語）、特別支援学校教諭・中学部・外国語（英語）及び特別支援学級教諭・高等部・外国語（英語）を受験する者のうち、資格を有する者のみ、実用英語技能検定、TOEFL及びTOEICについて資格を証明できる書類の写し（A四判）を提出すること。</p>	<p>(5) 日本語で記入すること。</p> <p>(二) 自己アピール用紙 黒ボールペンを用い、枠内におさまるように記入すること。</p> <p>(三) 整理カード</p> <p>(1) 整理カード記入要領により、黒ボールペンを用いて正確に記入すること。</p> <p>(2) 日本語で記入すること。</p> <p>(四) 五十二円切手（受験票の送付に使用） 切手は受験願にクリップで留めると。</p> <p>(五) 英語に関する資格証明書の写し 中学校教諭・外国語（英語）、高等学校教諭・外国語（英語）、特別支援学校教諭・中学部・外国語（英語）及び特別支援学級教諭・高等部・外国語（英語）を受験する者のうち、資格を有する者のみ、実用英語技能検定、TOEFL及びTOEICについて資格を証明できる書類の写し（A四判）を提出すること。</p>	<p>(注) (一) 提出書類が不備の場合は、受理しないことがある。</p> <p>(二) グローバル人材を対象とした特別選考の受験者については、表中(一)、(三)及び(六)の作成に当たり、代筆を認める。ただし、署名欄は自筆とする。</p>
<p>(5) 日本語で記入すること。</p> <p>(二) 自己アピール用紙 黒ボールペンを用い、枠内におさまるように記入すること。</p> <p>(三) 整理カード</p> <p>(1) 整理カード記入要領により、黒ボールペンを用いて正確に記入すること。</p> <p>(2) 日本語で記入すること。</p>	<p>(5) 日本語で記入すること。</p> <p>(二) 自己アピール用紙 黒ボールペンを用い、枠内におさまるように記入すること。</p> <p>(三) 整理カード</p> <p>(1) 整理カード記入要領により、黒ボールペンを用いて正確に記入すること。</p> <p>(2) 日本語で記入すること。</p>	<p>(六) 特別選考調書</p> <p>(1) 記入例を参考に正確に記入すること。</p> <p>(2) 日本語で記入すること。</p>

3 受付期間

平成二十六年四月二十一日（月）から平成二十六年五月三十日（金）まで

- (注) (一) 郵送の場合は、五月三十日（金）までの消印のあるものに限り受け付ける。
- (二) 郵送によらない場合は、午前八時四十五分から午前十二時まで、午後一時から午後五時まで（土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号）に規定する休日を除く。）の間に受け付ける。

4 提出先

広島県教育委員会事務局管理部教職員課
（〒七三〇―八五一四 広島市中区基町九―四二）

5 提出方法（留意事項）

- (一) 出願については、郵送又は持参のみの受付とする。
- (二) 出願に当たっては、所定の封筒又は表紙（教育委員会ホームページから様式をダウンロード）を貼った長さ三百三十二ミリメートル、幅二百四十ミリメートルの角形二号の封筒に提出書類等を封入し、提出すること。
- (三) 郵送により提出する場合は、簡易書留扱いとすること。

6 受験票の交付

受験票は、六月末頃に本人宛に送付する。七月四日（金）を過ぎても到着しないとき

は、広島県教育委員会事務局管理部教職員課又は広島市教育委員会事務局学校教育部教職員課へ連絡すること。

7 今年度の第一次選考試験の免除について

次の全ての要件を満たす場合（身体に障害のある者を対象とした特別選考については、(一)及び(二)を満たす場合とする。）、第一次選考試験を免除し、第二次選考試験からの受験とする。なお、社会人を対象とした特別選考及び臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考は、第一次選考試験免除の対象にはならない。また、出願手続については、「八 受験手続」を参照の上、受付期間内に行う必要がある。

(一) 平成二十六年年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験を受験し、第一次選考試験の結果、第二次選考試験の受験資格を得て、第二次選考試験を受験した者（採用候補者名簿に登録された後、採用を辞退した者を除く。）

(二) 平成二十七年年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験を、同一職種、同一校種（特別支援学校においては同一部とする。）、同一教科（科目、分野）で受験する者

ただし、平成二十七年年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験の受験資格（「三 受験資格」を参照）を有し、その職種、校種、教科（科目、分野）の募集がある場合に限る。

(三) 平成二十六年五月一日現在、広島県・広島市の公立学校で育休任期付職員、臨時的任用職員又は非常勤講師等として勤務している者

ただし、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭又は特別支援学校教諭を受験する者については、育休任期付職員、臨時的任用職員又は非常勤講師等のうち授業者として教科指導を行う者に限る。

九 選考試験結果の通知

1 第一次選考試験結果については、八月八日（金）に本人宛通知書を発送し、第二次選考試験の受験資格を得たか否かを通知する。

なお、八月十三日（水）を過ぎても通知がないときは、広島県教育委員会事務局管理部教職員課又は広島市教育委員会事務局学校教育部教職員課へ連絡すること。

2 第二次選考試験結果、グローバル人材を対象とした特別選考結果及び現職教員を対象とした特別選考結果については、九月三十日（火）に本人宛通知書を発送し、採用候補者名簿に登録されたか否かを通知する。登録された者については、広島県教育委員会又は広島市教育委員会のいずれの採用候補者名簿に登録されたかを明記している。

なお、採用見込人員の変動等により、受験した校種以外の校種の採用候補者として登録され、また、広島県の希望者が広島市教育委員会の採用候補者名簿に、広島市の希望者が広島県教育委員会の採用候補者名簿に登録されることがある。

また、登載者には、採用に向けての説明会を平成二十六年十二月中旬から下旬に開催する予定である。期日や準備物等については別途知らせる。

3 第一次選考試験結果、第二次選考試験結果、グローバル人材を対象とした特別選考結果及び現職教員を対象とした特別選考結果については、広島県教育委員会のホームページ

ジ及び広島市教育委員会のホームページに、第二次選考試験の受験資格を得た者又は採用候補者名簿に登録された者の受験番号を、それぞれ本人宛通知書を発送する日に掲載する（午後五時頃の予定）。

十 選考試験結果通知後の手続き等

1 次の者は、「職歴を証明する書類」（履歴事項が全て記載されたもので、任命権者（雇用主）の証明印が必要）を平成二十六年十月二十四日（金）までに提出すること。ただし、受験願に虚偽の記載があった場合又は現職教員を対象とした特別選考について平成二十七年三月三十一日までに中途退職した場合は、合格を取り消すことがある。

(一) 社会人を対象とした特別選考の結果、採用候補者名簿に登録された者のうち、特別免許状授与手続の対象者以外の者

(二) 臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考の結果、採用候補者名簿に登録された者であつて、平成二十二年度から平成二十五年度の間において勤務した臨時的任用職員等としての職歴のうち、広島県及び広島市を除く市町教育委員会に任用された期間がある者

(三) グローバル人材を対象とした特別選考の結果、採用候補者名簿に登録された者であつて、平成二十二年四月から平成二十六年八月までの間において勤務した臨時的任用職員等としての職歴のうち、広島県及び広島市を除く市町教育委員会に任用された期間がある者

(四) 現職教員を対象とした特別選考の結果、採用候補者名簿に登録された者

十一 採用候補者名簿の有効期間

採用候補者名簿の有効期間は、原則として平成二十七年四月一日から平成二十八年三月三十一日までとする。

ただし、採用候補者名簿登載者が、本人の希望により、教員としての能力及び資質の向上を目的として大学院等に修学する場合であつて、任命権者にその旨の申出を行い、許可を得た場合に限り、名簿登載期間を一年間延長できるものとする。

(延長に係る取扱)

1 対象者は、出願時において、受験する職種・校種・教科の教育職員免許状を取得している者とする。

2 名簿登載期間を延長する期間は一年以内の範囲で認めるものとし、更新を認めない。

3 大学院等に修学する場合には、国内の大学院に修学する場合のほか、国内大学の研究生又は科目等履修生として学業を継続する場合及び海外の大学又は大学院に修学する場合を含む。ただし、一年間延長した採用年度の四月一日時点で修了していることとする。

十二 次年度の第一次選考試験免除

次の全ての要件を満たす場合（身体に障害のある者を対象とした特別選考の受験者については、1及び2を満たす場合とする。）、平成二十八年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験の第一次選考試験を免除し、第二次選考試験からの受験を認めることとする。なお、社会人を対象とした特別選考及び臨時的任用等教職経験者を対象とした特

別選考の受験者は、第一次選考試験免除の対象にはならない。

- 1 平成二十七年年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験を受験し、第一次選考試験の結果、第二次選考試験の受験資格を得て、第二次選考試験を受験した者（採用候補者名簿に登録された後、採用を辞退した者を除く。）
- 2 平成二十八年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験を、同一職種、同一職種（特別支援学校においては同一部とする。）、同一教科（科目、分野）で受験する者

ただし、平成二十八年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験の受験資格を有し、その職種、職種、教科（科目、分野）の募集がある場合に限る。

- 3 平成二十七年五月一日現在、広島県・広島市の公立学校で育休任期付職員、臨時的任用職員又は非常勤講師等として勤務している者

ただし、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭又は特別支援学校教諭を受験する者については、育休任期付職員、臨時的任用職員又は非常勤講師等のうち授業者として教科指導を行う者に限る。

十三 その他

- 1 試験会場については、変更されることがある（試験会場は受験票で知らせる。）。
- 2 広島県教育委員会又は広島市教育委員会が任命する正規任用教員（実習助手及び寄宿舎指導員を除く。）として勤務する者が、他の学校種等での勤務を希望する場合は、人事異動による対応となるため、本選考を受験することはできない。
- 3 職種・職種・教科（科目、分野）の欠員状況等に依りて採用を決定するため、採用候補者名簿に登録された者全員が採用になるとは限らない。また、採用予定時までに受験する職種・職種・教科に相当する有効な免許状を取得できなかった場合、必要な在留資格を取得できなかった場合は採用されない。
- 4 広島県教育委員会が広島市教育委員会の採用候補者名簿から採用し、また、広島市教育委員会が広島県教育委員会の採用候補者名簿から採用することがある。
- 5 特別支援学校教諭で採用された者のうち、特別支援学校教諭免許状を所有していない者又は採用された学校の障害種別の領域の特別支援学校教諭免許状を有しない者は、採用後三年以内に、必要となる単位を修得し、在職年数要件（三年）を満たした時点で、速やかに申請を行い、配置校の障害種別の領域の特別支援学校教諭免許状を取得するよう努めること。
- 6 平成二十七年年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験の受験者に対して、可否の結果に関わらず、平成二十六年年度中の臨時的任用職員の任用又は非常勤講師の委嘱について連絡することがある。

十四 問合せ先

広島県教育委員会事務局管理部教職員課

電話 〇八二―五―一三―四九二七

郵便番号 七三〇―八五一四

所在地 広島市中区基町九―四二（県庁東館五階）

広島市教育委員会事務局学校教育教育部教職員課

電話 〇八二―五〇四―二一九九

郵便番号 七三〇―八五八六

所在地 広島市中区国泰寺町一丁目四―二二 (中区役所六階)